

経営比較分析表

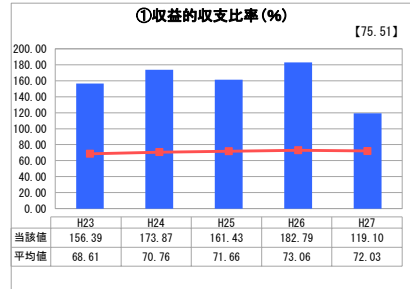
長野県 佐久穂町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	水道事業	簡易水道事業	D4
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	普及率 (%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金 (円)
-	該当数値なし	8.19	2,808

人口 (人)	面積 (km ²)	人口密度 (人/km ²)
11,818	188.15	62.81
現在給水人口 (人)	給水区域面積 (km ²)	給水人口密度 (人/km ²)
962	0.68	1,414.71

グラフ凡例
■ 当該団体値 (当該値)
— 類似団体平均値 (平均値)
【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



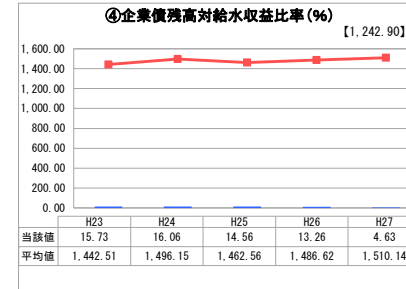
「単年度の収支」



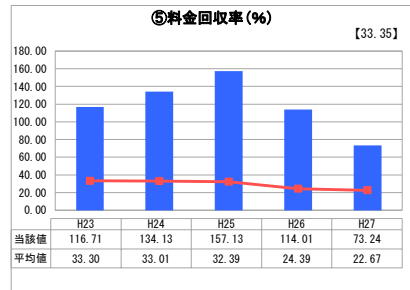
「累積欠損」



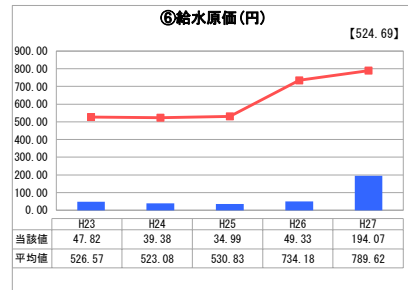
「支払能力」



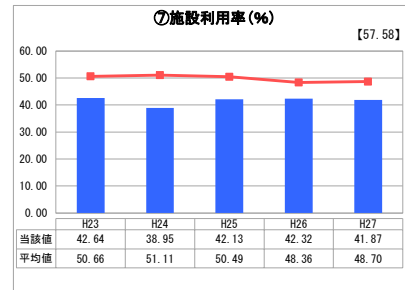
「債務残高」



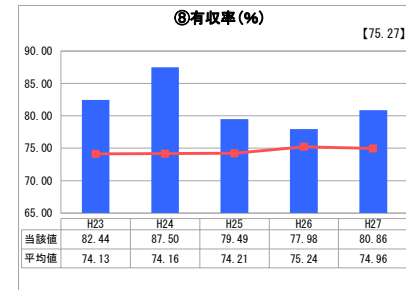
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

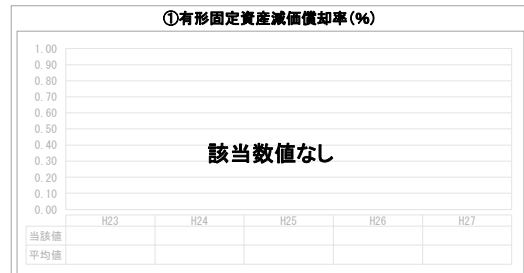


「施設の効率性」



「供給した配水量の効率性」

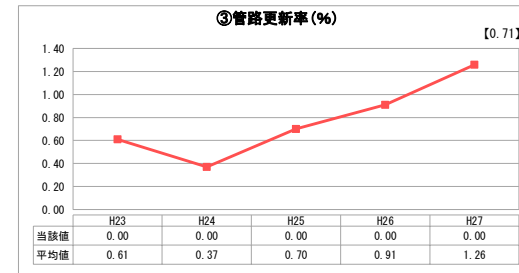
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

現在、経営面では収益的収支率は100%を上回っており健全と思われるが、総収益の多くの部分を給水収益以外に依存しているのが現実であり、給水区域が山間部であることや使用量の減少等により給水収益の増大は見込めない為、有収率の向上を行うことが必要と考えられる。

2. 老朽化の状況について

管路更新より20年以上経過しており有収率向上の観点から漏水個所の修理等を行わなければならないと考えられる。

全体総括

健全経営と言えるが、管路・施設更新に向けて費用の財源が必要となる為、有収率の向上と抜本的な経営改善が必要と考えられる。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。